

2019年9月18日

一般社団法人 日本半導体商社協会 (DAFS)
経営研究委員会

2019年10月30日(水)開催 DAFS 経営研究委員会主催セミナー開催要領

第1部：「半導体商社を取り巻く環境と課題および対応策」

および

第2部：「終わりが見えてこない米中貿易摩擦と日韓輸出管理強化問題の
エレクトロニクス産業への影響」

1. 主催：(一社) 日本半導体商社協会(DAFS) 経営研究委員会
2. 開催日時：2019年10月30日(水) 14:00~17:20 (受付開始 13:30より)
3. 会場：丸文(株)本社 5F 大会議室
(中央区日本橋大伝馬町8-1 地下鉄日比谷線 小伝馬町駅1番出口より徒歩3分)
4. 演題/講演依頼先・時間割：
連絡事項・委員長挨拶 (14:00~14:05)

・第1部 (14:05~15:35) (90分)

演題：『半導体商社を取り巻く環境と課題および対応策』

講師：ガートナー ジャパン株式会社 リサーチ&アドバイザリ部門

テクノロジ&サービス・プロバイダー

半導体/エレクトロニクス・グループ 主席アナリスト

山地 正恒 (やまじ まさつね) 氏

講演要旨：

低成長時代を迎えた半導体産業は、サプライヤの再編が続いています。また、低迷する日系電子機器メーカーは、過去10年のうちに世界の半導体消費に占めるシェアを半減させました。こうした状況下において、外資系サプライヤ製品を国内顧客向けに販売する半導体商社は、生き残りをかけた事業戦略の転換を迫られています。同セミナーでは、中長期的視点から、こうした商社が取るべき戦略について、データにもとづいた提言を行います

講師略歴：

ガートナー ジャパンにおいて、世界の電子機器製造業者による半導体需要を、地域ごと、デバイスごと、およびアプリケーションごとに調査・分析し、提言を行っている。また、中小顧客層についての分析を行うとともに、世界の半導体商社市場の調査・分析も担当し、製品プロモーションおよびチャネル戦略について包括的な提言を行っている。2009年より産業機器、2017年より車載機器向け半導体市場予測に従事。ガートナー ジャパン入社以前は、半導体を中心とするエレクトロニクス専門商社において、通信機器やカー・エレクトロニクス市場におけるアプリケーション・マーケティングや新規商材の発掘などの業務に従事。

上智大学外国語学部卒。

・ **第2部 (15:50~17:20) (90分)**

演題：「終わりが見えてこない米中貿易摩擦と日韓輸出管理強化問題のエレクトロニクス産業への影響」

講師： IHS グローバル株式会社 IHS Technology 調査部ディレクター
南川 明 (みなみかわ あきら) 氏

講演要旨：

終わりが見えないように感じる米中貿易摩擦だが、2019年1月に米国で聞いてきた米政府シンクタンクの戦略通りに、米中貿易摩擦が進んでいる。実は米国の思惑通りにこれまでは進んでいるのだ。しかし、米国も中国も簡単には引けない状態になっているので、今後どのような展開になるかを考えてみたい。

さらに日韓輸出管理問題に関しても政府機関やメーカーへのインタビュー結果をお話ししてみたい。

講師略歴：

- 1982/3 武蔵工業大学 電気工学科卒業 自動制御専攻
- 1982/4-1990/5 モトローラ株式会社/Hong Kong Motorola Marketing specialist
- 1990/5-1995/12 ガートナー ジャパン株式会社データクエスト 半導体産業分析部 シニア・アナリスト
- 1996/1-2000/5 IDC Japan 株式会社 ディレクター
- 2000/6-2003/4 WestLB 証券会社 調査部 ディレクター&シニア・アナリスト
- 2003/4-2004/2 クレディーリヨネ証券会社 調査部 テクノロジーヘッド&シニア・アナリスト
- 2004年7月 株式会社データガレージ設立
- 2006年12月 米アイサプライ社と合併
- 2010年11月 米IHSの傘下に入り、IHS アイサプライジャパンとなる
- 2012年12月 IHS グローバル株式会社に社名変更

講演活動&執筆活動：

JEITA、半導体産業新聞、SEMI Japan (日本、韓国、台湾など)、電子ジャーナルなどのセミナーで定期的に講師として講演を行っている。半導体産業新聞、電子ジャーナル、日経マイクロデバイスでも連載記事を執筆。その他、メディアでも記事の執筆やTV出演などの広報活動も精力的に行う。

5. 受講料：DAFS 会員：10,000 円/一人 (当日現金・領収書発行)

6. 参加申込：別紙参加申込書に記入の上、DAFS 事務局宛てに E-Mail にてお申込み下さい。
人数のみの仮予約も受付けます。

7. 締切日：10月17日(木) または定員(50名)に達したとき。

以上